



# 夏場の園庭開放について



暑い季節がやってきました。30℃を超えるような厳しい暑さの日もあります。今年も園庭解放をご利用者の皆様の安全を考慮し、エンゼルクラブの園庭開放についてお願いがあります。

**正午(12時)の時点で、園庭の暑さ指数が  
31℃以上の場合、園庭開放を中止にします。**

※園庭利用の可否は、門扉にてお知らせします(当日、お電話でもお答えできます)

※園庭をご利用中に暑さ指数31℃を超えた場合は、お声がけしますのでお帰り願います

※子どもが大人より熱中症にかかりやすい原因は、

- 体温調節機能がまだ発達していない
- 体に熱がこもりやすく体温が上昇しやすくなる
- 全身に占める水分量が大人より高いため、

気温が体表温度より高くなると熱を逃がすことができないなどの原因があります。

お子さんの安全を第一に考え、ご理解・ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。



環境省 熱中症予防情報サイトより

暑さ指数(WBGT)が31℃以上の場合は、「運動は原則禁止」、「外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する」  
28℃～31℃未満の場合は、「**厳重警戒(激しい運動は禁止)**」「**外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する**」とあります。



暑さ指数 (WBGT) = 1 : 7 : 2

気温の効果                      湿度の効果                      輻射熱の効果

WBGT	日常生活での注意事項	熱中症予防のための運動指針
31℃以上 <b>危険</b>	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	<b>運動は原則中止</b> 特別の場合以外は運動を中止するべき。
28～31℃ <b>厳重警戒</b>	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	<b>厳重警戒(激しい運動は中止)</b> 熱中症の危険性が高いため、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。体力のない人や肥満の人、暑さに慣れていない人、暑さに弱い人などは運動を軽減または中止。
25～28℃ <b>警戒</b>	運動や激しい作業をする際は定期的に充分な休憩を取り入れる。	<b>警戒 (積極的に休憩)</b> 熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
21～25℃ <b>注意</b>	激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	<b>注意 (積極的に水分補給)</b> 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。